

事業所における自己評価総括表

○事業所名	江戸川区鹿本育成室		
○保護者等 評価実施期間	令和7年11月17日～令和7年12月8日		
○保護者等 評価有効回答数	【対象者数】 62名	【回答者数】 59名	
○職員 評価実施期間	令和7年11月17日～令和7年12月8日		
○職員 評価有効回答数	【対象者数】 17名	【回答者数】 17名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや組織的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動に応じて活動場所の選択ができる	活動や子どもの様子によって、使用する部屋を選択しています。グループで活動する際は、事前に写真で提示をして、子どもが見て確認ができるよう配慮しています	療育室以外の場所を使用する機会を増やし、ダイナミックに体を使って遊べる機会を増やしていく。子ども自身が遊びを自分で選択できるように、環境設定をしていく
2	行事を通して、異年齢の交流をおこなっている	行事等を通して、異年齢との交流がおこなえるように計画的に活動しています	行事だけでなく、平常時にも遊びの中で交流の機会がもてるようしていく
3	非常時の備えや訓練を計画的に実施している	安全計画や非常災害訓練計画等、年間で計画を立てて実施しています。大きな災害時の保護者との連絡や引き渡しなど経験する機会をつくっています	非常災害訓練の目的や訓練の様子など保護者にわかりやすく伝えていく。年齢に合わせ、子ども自身が考えて行動できる機会をつくっていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流	保護者親睦会や保護者交流会の機会は設けているが、交流するまでに至っていない	全体での保護者交流会は講演会後に設定するなど、集まりやすい機会を活用した開催方法を工夫していく
2	わかりやすい情報提供	区からきた講演会やその他お知らせを掲示しているが、保護者に周知されにくい	目につきやすい場所への掲示やクラスからの情報提供をタイムリーにおこなっていく
3	きょうだい支援	今年度の取り組みとしておこなってきたが、きょうだい同士が関わり交流することにつなげる難しさがあった	きょうだい同士が関わり合い、関係づくりができるように、活動を設定していく